

町政懇談会の記録

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
1	横田	R7. 11. 6	02道路・交通・建物	横田橋交差点の交通事故対策	横田橋交差点について、最近も横転するような交通事故が2回起きた。トリックアートは効果がなかったと思われる。橋の欄干やガードレールが山なりになっていて見づらいのではないか。信号機なり、段差をつくったり、見やすいカーブミラーを置いたり、何かさらなる対策が必要である。	まちづくり課 危機管理課	御意見の箇所については、以前から安全対策の要望があり、ハンプ（路面の段差）を検討しましたが、先進地では振動や騒音が社会問題となっている事例があり、設置に至りませんでした。 町としては、今後も効果的な対策がないか研究を行い、警察による取り締まり強化を要請するとともに、警察や関係団体と連携して、対応等に務めてまいります。 なお、信号機の設置は、公安委員会（警察）の管轄となりますので、県の道路管理者（県道219号線）への要望含め、対応を検討していきたいと考えております。
2	横田	R7. 11. 6	04環境	大谷川沿いの道路にはみ出た草	横田北組の消防倉庫から東にかけての大谷川沿いのガードレールにカズラがまいて、道路にはみだしてしまっているので対応をお願いしたい。	まちづくり課	御指摘のありました箇所については、愛媛県において、除草されたことを確認いたしました。（令和7年11月17日確認）地域の皆様には、交通に支障をきたしてしまい、申し訳ございませんでした。
3	横田	R7. 11. 6	08農業	耕作放棄地の有効利用	蓼原池の北側、大谷川沿いのカーブあたりに耕作放棄地がある。10年以上前に、蓼原池の補修をしたときに土をさらえて、盛り土をした場所だが、全体的に草や木が生えてしまって、石なども混ざっていて、農地としては再生は難しい。所有者たちはみんな困っているが、町で有効利用してもらえないか。	産業課	町としても、増えていく耕作放棄地について、重要な課題であると受け止めております。 現状では、農地として寄附を受けることは制度上できないため、農地所有者に対し、耕作放棄是正の指導を行うとともに、耕作ができる農地への復旧に対し、行政でサポートできることがないか検討してまいります。 今後も、皆様とともに、持続可能な農地づくりに取り組んでまいりたいと思いますので、御理解と御協力をお願いいたします。
4	横田	R7. 11. 6	08農業	農道の舗装	農業広域化も将来的にはあるべきだが、今現在農業をやっている人のために、農道だけでも舗装してあげたい。伊予市は農道で舗装をしていないところはない。 横田の農道は、所有者は町に提供していると思っていても、実は何代も前の人の個人名義のままで残っていたりするので、舗装が難しい。何か方法はないか。	産業課	多面的事業では個人名義の農道（土地）の舗装を行うことは制度上できません。町に寄附することで事業の対象となり舗装することが可能です。寄附が難しい場合は、多面的事業以外（土地改良事業）での施工を検討することになりますので、お気軽に産業課まで御相談ください。
5	横田	R7. 11. 6	02道路・交通・建物	永田交差点の道路拡張	第6分団消防詰所が永田にできた場合、横田で火事があったとき、永田交差点が狭くて消防車はいってこれない可能性もある。人災があったときに、誰が責任をとるのかというのを県や所有者に伝えて、なんとか道路の拡張を進められないのか。	まちづくり課	永田交差点改良事業については、これまでも県に要望してまいりましたが、事業が進捗していない状況です。御指摘の通り、緊急車両の通行の妨げになることや、北伊予小学校の通学路でもあることから、地域の要望に応えられるよう、今後も引き続き要望してまいりますので、御理解のほどよろしくお願いします。
6	横田	R7. 11. 6	04環境	空き家の現状	全国的に空き家が多いが、松前町の現状と活用方法を聞きたい。	まちづくり課	町では、今年度、町内全域の空き家調査を行い、空き家の把握を行った上で、来年度から利活用に関する所有者の意向確認調査を実施する予定です。 その後、所有者の意向に基づき、利活用を希望する空き家の情報を、町から松前町空き家アドバイザー協議会等の民間業者に提供し、民間業者が所有者の空き家の利活用をサポートする仕組みを構築してまいります。

	地区名	開催日	大項目	小項目	質問・意見の要旨	担当課	回答等の要旨 (※対応予定及び対応済は、朱書きで入力)
7	横田	R7. 11. 6	12その他	アリーナ計画	アリーナ計画について進捗状況は？佐賀は県営でやって成功しているが、バスケは30試合ぐらいしかないので、残りの300日をどうするかで考えないといけない	財政課	町では、子ども会議からの提案や住民団体からの要望を受け、スポーツエンターテインメント構想の第1段階として、まず「アーバンスポーツパーク」の整備に向けた準備を開始したところです。この施設の財源については、国の交付金等の活用に加え、民間からの資金を活用できるよう、企業版ふるさと納税なども検討しながら整備を進めます。また、施設の運営は、民間に委ねることで持続可能な仕組みを構築する考えです。 御質問のアリーナ計画は、構想の第2段階として位置づけるものですが、報道等で取り上げられているとおり、現時点では具体的な内容は、何も決定しておりません。 御指摘のように、バスケットボールなどのプロ興行が年間30試合程度であることを考えると、佐賀県の事例のように残りの日数をいかに多様に活用し、持続可能な運営を行うかが重要な鍵となります。なお、町の予算規模では公設は困難であるため、アリーナ計画は民間による投資を前提としております。町は、開発許可など、可能な範囲での支援を行う方針で考えております。
8	横田	R7. 11. 6	01防災	消防団の連絡体制	消防団として、伊予消防のHPで火災がどこで起こっているかは分かる。それに加えて、どこの消防団に出動要請が出ているのかが見えたらいいい。現在は、サイレンも聞こえづらいので、消防団員の間で出動なのかどうかについて、迅速な情報共有ができていない。	危機管理課	貴重な御意見をありがとうございます。 消防団の情報共有等については、昨年度から整備の検討を進めております。今現在は、システムの不具合の改善等を行っている段階になりますが、実証実験を重ね、なるべく早い段階で提供ができるようにしたいと考えております。
9	横田	R7. 11. 6	05子育て	松前公園の遊具、公園の新設	松前公園も使えない遊具がちょこちょこある。子育て世代にとって、町外に出なくとも、子どもが遊べる大きな公園があればよい。	社会教育課 まちづくり課	いつも松前公園を御利用いただきありがとうございます。 松前公園の遊具につきましては、定期点検の機能判定結果が「使用不可」となったものは「使用禁止」としており、利用者の皆様に御不便をおかけしておりました。 今年度、使用禁止遊具の撤去を行うとともに、複合遊具の構成パーツの内、劣化が認められるものの交換修繕にあわせて、ローラー滑り台下の法面の補修等を行い、現在は安心して御利用いただける状態になりました。 複合遊具をはじめ子ども広場内の施設は整備してから25年が経過し老朽化が進んでいるため、今後施設のリニューアルについて検討を進めていきたいと考えています。 また現在、令和9年度末の完成を目指し、従来の敷地面積を倍増させた義農公園の再整備を進めています。町民参加型のアンケート調査やワークショップを実施しており、子育て世代をはじめ、さまざまな世代に親しまれる公園を目指してまいりますので、ぜひ御意見等をお聞かせください。